

は大いに盛り上がりました。

桐生えびす講について、今まで知らなかった歴史や時代とともに変化してきた歴史を知る機会となった非常に有意義な月次会となりました。(久保田寿栄 記)



### 歩く会 10月例会

#### 大山詣での 大山登山

10月8日、午前6時予定参加者8名全員揃い、桐生倶楽部出発。北関東道から関越・圏央道・東名と高速道路を乗り継いで、伊勢原大山PAで下車、そこから細い一般道を通り大山ケーブルカーに乗って終点から歩き出す。コースはきつい表参道コースとなだらかな展望台コースがあり、後者を選ぶ。



歩きだして間もなく、朱色の立派な阿夫利神社下社に寄り、道中の安全を祈願して出発。なだらかで幅の広い登山道は、

木段でよく手入れが行き届いて歩きやすい。二重滝を過ぎ、しばらく行くと、視界が開けそこが展望台だ。展望台からは、相模湾に浮かぶ江の島が近くに見え、その向こうに三浦半島遠くうっすらと房総半島が見える。

目を東に転ずると、大東京の中にひと際目を引くスカイツリーが望める。山と海、両方を一挙に手に入れてなんとも贅沢な気分になる。ここからのコースは時折右手に相模湾を望む以外は、単調で山頂まで続く木段をひたすら登る。山頂について余りの人の多さにびっくり。かなり広い山頂部は、次から次と来る人の波で埋め尽くされている。

年間100万人を超えるハイカーを受け入れる人気の山の本領を垣間見た気がする。大富士が近くに望めるはずだが、天気予報によると、午後は下り坂とのこと。予想より早めに昼前後から雨が降り始めた。予定を早め、下山開始。幸いなことに降りは弱く、合羽を着て、事なきを得た。

今回うれしかったのは、全員が山頂を極めたことであり、残念なことは大富士を見られなかったことである。もう一回登ってみたい、魅力的な山だった。

(岸田信克 記)

